

第53号 社協だより

笑顔

平成30年11月1日発行
【天草市社会福祉協議会】

輝く笑顔に彩られた

第6回 あまくさシルバーファッションショー

《内 容》

- 第6回 あまくさシルバーファッションショー
- 長崎・熊本・鹿児島県 7市町民生委員児童委員協議会
災害時相互応援協定 締結式
- 倉岳地域防災講座と各地区ごとの取り組み
- 【福祉サービスのご案内】
 - ・介護支援ボランティア事業・墓地清掃管理サービス
 - ・あまくさ成年後見センター
 - ・金銭管理サポート事業・ほっと安心サポート事業

あなたが輝くとき、地域が変わる

～第6回 あまくさシルバーファッションショー～

9月17日(月・敬老の日) 天草市民センターホールにおいて、第6回あまくさシルバーファッションショーを開催し、約700名の皆さんにご来場いただきました。平均年齢87歳、25名のモデルの皆さんは、思い出の衣装を身につけ、華やかにランウェイを歩かれました。当日は、熊本県美容組合天草支部(松山厚子支部長)の13店舗の協力のもとプロのヘアメイクを受け、本番前から気分を高め、ステージに立たれました。また、社会福祉法人青豊会 本渡ふたば保育園(洲崎豊裕園長)の年長児6名も、かわいらしい衣装で舞台を盛り上げてくれました。最後に特別ゲストの元「テレビタミン」でおなじみの村上美香さんから、「今日の日を楽しみにしていました。皆さんから元気もらいました。」とコメントをいただきました。



▲村上美香さん



▲中村会長



孫と出演!
いい思い出になりました



ストールと帽子でダンディに
決まっています!



出演者最高年齢98歳!!
霧田ミチコさんは、お孫さんと出演



本渡ふたば保育園の
ガールズ&ボーイズ!



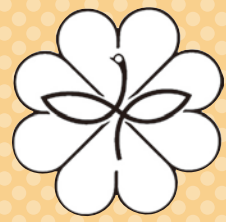
出演者、美容組合、本渡ふたば保育園
及びゲストの村上美香さんと中村会長

出演者一覧 (出演順・敬称略)				
青木 輝子(河浦町)	岸川ミツエ(八幡町)	竹本キクノ(新和町)	古川 美満(御所浦町)	福島 永子(五和町)
村 スミエ(瀬戸町)	井上 満枝(有明町)	水本キヌヨ(御所浦町)	原田 輝司(倉岳町)	清水ツヤ子(倉岳町)
山下 春博(五和町)	吉田 利満(栖本町)	松本 春美(河浦町)	松下ユキエ(本町)	吉崎テルミ(牛深町)
渡辺カオル(牛深町)	平松 清春(天草町)	末松 成雄(栖本町)	坂井 愛子(天草町)	濱崎 千里(有明町)
武田 國郎(北原町)	船越 スエ(牛深町)	吉野エミ子(山の手町)	上元 正孝(新和町)	霧田ミチコ(伊宇土町)

特別出演	・社会福祉法人青豊会 本渡ふたば保育園 年長児6名
共催	・天草市・熊本県美容組合天草支部・天草市老人クラブ連合会
協力店	・プライダルコスチューム 丸京・洋服の青山 本渡亀場店 ・はるやま 熊本本渡店・グリーンショップ ミヨセ



▲熊本県美容組合天草支部
松山厚子 支部長



全国初!

民生委員・児童委員の大規模災害時に備え相互に

支援活動拡充 応援する体制を整備しました



長崎・熊本・鹿児島 7市町民生委員児童委員協議会 災害時相互応援協定を締結!

9月8日(土)、ホテルアレグリアガーデンズ天草において、来賓、行政及び社会福祉協議会の関係者51名が参加し、長崎・熊本・鹿児島県の3県にまたがる、7つの各市町民生委員児童委員協議会が、大規模災害が発生した場合、被災地の民生委員活動を応援する、災害時相互応援協定を締結しました。



▲災害時相互応援協定書の調印を終え、握手を交わす7市町の各民生委員児童委員協議会会長と立会人の天草市社会福祉協議会 中村会長 (天草市長)

民生委員・児童委員は、地域住民の「心のよりどころ」になり、「見守り」、「発見」、「受け止め」、そして必要な手立てに「つなぐ」ことを使命として、日頃から支援活動を行っています。しかし、近年は大規模な災害が全国各地で発生しており、災害救助法が適用されるような大規模な災害が発生した場合には、被災地における民生委員・児童委員の活動が出来ない状況に陥ることが想定されます。

平成23年に発生した、東日本大震災では56名が、また、平成28年の熊本大地震でも1名の民生委員・児童委員さんがお亡くなりになりました。多くの民生委員・児童委員の方々も被災され、避難所生活や仮設住宅の生活を余儀なくされたとのことです。

今回の災害時相互応援協定は、全国民生委員児童委員連合会が策定した『災害時要援護者支援活動に関する指針』や『災害時一人も見逃さない運動』の趣旨に基づいて、被災地の民生委員・児童委員としての活動が充分にできない場合に、協定を締結した



▲立会人あいさつを行う天草市社会福祉協議会会長 中村五木天草市長

今回の協定締結を 心強く思います

天草市社会福祉協議会会長の中村五木天草市長は、「本日の協定締結の合意が整ったということで、行政を預かる者として、また社会福祉協議会の会長として、大変心強く思います。いざ災害が発生し民生委員活動の応援が必要になった場合には、協定書に基づき、お互いに協力体制を整えていただきたい。」と立会人のあいさつを行いました。

その後、ご来賓を代表して、熊本県社会福祉協議会の良永彌太郎会長と、熊本県天草広域本部の服部希世子保健福祉環境部長



▲熊本県社会福祉協議会 良永彌太郎会長



▲熊本県天草広域本部 服部希世子部長



▲講演会の様子と講師の益城町民生委員児童委員協議会 稲田ハツコ会長



からご祝辞をいただき、協定締結式を閉じました。最後に、協定締結記念講演として、益城町民生委員児童委員協議会の稲田ハツコ会長から「熊本地震を経験して、被災者に寄り添う民生委員活動の重要性について」と題して、体験談をご講演いただきました。

◀協定書



今回、協定を締結した民生委員児童委員協議会は、下記のとおりです。

県	協議会名	会長	氏名
長崎県	島原市民生委員児童委員協議会連合会	会長	前田 力
	南島原市民生委員児童委員協議会	会長	松藤 嘉嗣
熊本県	益城町民生委員児童委員協議会	会長	稲田 ハツコ
	天草市民生委員児童委員協議会連合会	会長	山田 元信
	上天草市民生委員児童委員協議会連合会	会長	木本 軍司
	苓北町民生委員児童委員協議会	会長	時尾 継光
鹿児島県	長島町民生委員児童委員協議会	会長	川田 幸則
立会人	社会福祉法人 天草市社会福祉協議会	会長	中村 五木

災害発生時には スムーズな応援を

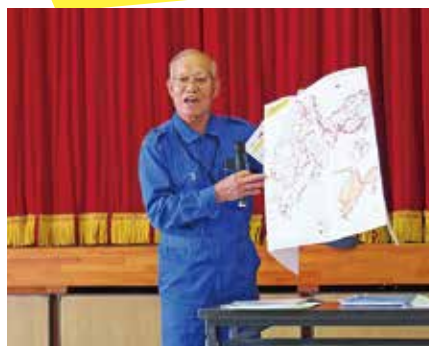


▲応援協定締結民児協代表 あいさつを行う、天草市民生委員児童委員協議会連合会 山田元信会長

協定締結の民児協を代表して、天草市民生委員児童委員協議会連合会の山田元信会長が「災害が発生した場合には情報共有し、スムーズな応援ができるよう協力をお願いします。」とあいさつを行いました。

他の民生委員児童委員協議会からの応援が円滑にできるようにすることを目的としています。当日は、天草市民生委員児童委員協議会連合会と、14単位の民児協の事務局を担っている天草市社会福祉協議会会長の中村五木天草市長を立会人に、7市町の民児協会長が協定書に調印しました。なお、全国民生委員児童委員連合会に確認したところ、県域をまたいだ7市町の民生委員児童委員協議会において、独自に災害時における相互の応援協定を締結することは、全国初の取り組みであるということでした。

ご存知ですか 地域のハザードマップ



▲大脇区長(引地勝則 様)による地震ハザードマップを使った地域の説明



▲たくさんの方々にご参加いただいた炊き出し訓練の様子

牛深地域 (久玉町大脇地区)

平成30年は日本各地で災害の多い年となり、自然災害に対する意識を高め、地域としての繋がる防災・減災の必要性が増してきています。
今回は各地で行われた炊き出し訓練や、災害ボランティア養成講座の様子を一部ご紹介いたします。

地域で繋がる防災・減災

みんなを支える 災害ボランティアセンター

御所浦町 (横浦地区)



▶協力してハイゼックス(耐熱ポリ袋)にお米と水を詰めます



▲災害ボランティアセンターについての説明

【ハイゼックスとは】
張りや熱に強い特性があるポリ袋。水、お米、ハイゼックスがあれば温かいご飯を提供できる事から、災害時の避難所において炊飯器の代わりとして用いられます。

いざという時の 炊き出し訓練

天草町 (大江地区)



▲皆さん慣れた様子でお米と水を測って容器へ



▶袋の開口の向きを調整しながら大きなお鍋でグツグツ

新和町 (新和小学校)

炊き出しに みんなでチャレンジ



▶みんなでしっかりと覚えたら調理スタート!



▶袋でお米を炊くのは初体験のみならず

今、高める防災・減災

過去から受け継ぐ 今できること



▶主催者挨拶
天草市長・天草市
社会福祉協議会
会長 中村 五木

7月21日(土)、倉岳多目的研修集会施設において、倉岳地区住民、ボランティア及びスタッフを含め約200名の方々に参加いただき、「平成30年度倉岳地域防災講座」を開催しました。

今から46年前に山津波により、甚大な被害をもたらした「上天草大水害」が発生しました。

時の経過とともに、当時を知る人も次第に少なくなってきた今、過去の災害を振り返り、後世に伝えることで、大規模災害の被災地であったことを風化させることなく、教訓として日頃からの支え合いと、災害時の備えについて再認識していただくことを目的に開催しました。参加された皆さんにとって、地域の防災、減災について考える機会になったのではないのでしょうか？



▶防災講座会場の様子

講座では、被災された方々に黙とうを行い、天草市社会福祉協議会会長である、中村五木天草市長の主催者挨拶と、上天草大水害を経験された地元選出の鶴戸継啓天草市議会議員の来賓挨拶で開会しました。



▲来賓挨拶
天草市議会議員
鶴戸 継啓 様

発災当時の被災体験を語り継ぐため、棚底地区の田中隆光さんをコーディネーターに、浦地区の松田幸雄さんと宮田地区の松本久美子さんにお話しいただきました。

今 があるのは 地域の支えのお陰



▲語り手
松田 幸雄 様
(浦地区)

『自宅は跡形もなく流されてしまい、しばらくは親戚の家で暮らし、その後仮設住宅に入居しましたが、周りの方の支えがあって生活を立て直すことができました。』と、地域の支え合いの重要性を語っていただきました。

『昔 からの言い伝えに 命を救われた』



▲語り手
松本 久美子 様
(宮田地区)

『砥石川の石が流れ出すと危険だから逃げるように...』と、昔から言われていました。近所の保育所に水が溢れてきたと聞き、避難しようとして外に出た途端、山津波に巻き込まれ流されてしまいました。一命を取り留めることができたことは、瞬時の判断と昔の言い伝えを守った賜物でした。』と、今後の教訓として語っていただきました。

災 害時の支え合いの大切さ



▲コーディネーター
田中 隆光 様
(棚底地区)

田中さん自身も『仕事帰りにいつも渡っていた橋が流されており、どのようにして家までたどり着いたか記憶がない。それくらい凄まじい光景だった。』と、体験を語られ、予測できない災害がどこでも起こりうる怖さ、そして災害時の互いの支え合いの大切さについて話をまとめられました。

地域の大切な空間である墓地の再生

ご先祖を敬い、絆を大切にする

墓地清掃管理サービス

《お墓の清掃管理でお困りの方へ》

天草市内にお墓があり、身体的な理由やご家族の都合で、墓地の清掃管理にお困りの方に代わり、天草市社会福祉協議会（会長 中村 五木）が、新たな福祉的視点でソーシャルファームの理念に基づき、登録団体等と共に、お墓の清掃や供花を行います。



お墓の清掃管理に対する不安やニーズにお応えする為、天草市社会福祉協議会が、地域の大切な空間であるお墓の永続的な管理に取り組めます。

墓地内の除草やゴミ等の掃除、手作業による墓石の水拭き、生花等のお供え、作業報告（清掃後の写真等の送付）、その他、ご依頼の内容にそって、真心を込めて行います。

※ソーシャルファームとは

障がいをお持ちの方や引きこもりなどで、仕事を見つることが困難な方へ、働く場を創りだし提供する取り組み。

サービス利用料金

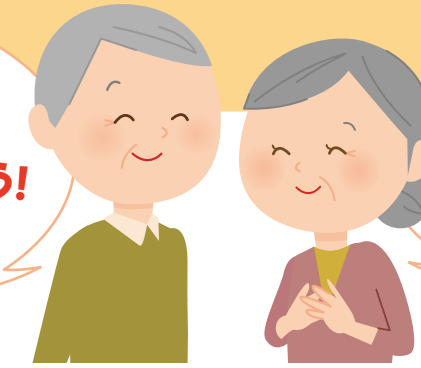
利用回数	利用料金	備考
1回	3,500円 (1基1回)	お墓の広さ、墓石の数により、利用金額に変動があります。(10㎡を超える場合、複数の墓石がある場合は、別途お見積もりいたします。)
複数回ご希望の方は、利用料金×回数の金額になります。		

サービス内容

基本作業	墓地内の除草及び枯葉やゴミ等の掃除と、手作業による墓石の水拭きを行います。(高圧洗浄機等は使用しません。)
供花 (別途料金)	ご希望により、生花等をお供えします。 ●供花料金 1対 1,500円(税込) ※生花等については、時期により価格の変動がありますので、上記金額内で対応いたします。 ※宗派の関係で、生花以外の供花や造花などのご希望にも対応します。 (実費の負担となりますのでご相談ください。)
その他	※その他、故人の嗜好品などのお供え物を希望される場合は、墓地所在地の社会福祉協議会支所でお預かりし、作業時にお供えいたします。(遠方にお住まいの方は、お送りください。)

★お申込みやお問合せは、お墓がある地区の天草市社会福祉協議会各支所にお気軽にご相談ください。

地域の支え合い・
助け合い
広げよう! 繋げよう!
ご近所力の輪!!



あなたもいっしょに
始めませんか!
「介護支援ボランティア」
登録者募集中!!

- 事業** 天草市介護支援ボランティア事業（天草市より受託）
- 対象** 天草市に住所のある65歳以上の方（介護保険第1号被保険者）
- 登録方法** 介護支援ボランティアの登録は、登録申請書を提出（天草市社会福祉協議会各支所で可）
- 活動期間** 毎年1月1日から12月31日まで
- 活動内容** 話し相手、お茶出しや配膳下膳の補助、支援が必要な高齢者のお宅でのゴミの分別、電球交換等の手伝いなど
- 活動場所** 天草市が指定する介護保険施設や事業所、支援が必要と認められた高齢者宅、市が行う介護予防事業会場など

介護支援ボランティアに登録された方には、「介護支援ボランティア手帳」をお渡しします。手帳にスタンプがたまると、最高5,000円分の「天草宝島商品券」と交換できます。

活動時間	スタンプ
30分以上～1時間未満	1個
1時間以上～1時間30分未満	2個
1時間30分以上～2時間未満	3個
2時間以上	4個

※30分の活動で1スタンプ、1日4スタンプが限度です。

スタンプ	交付商品券額
20個～39個まで	1,000円
40個～59個まで	2,000円
60個～79個まで	3,000円
80個～99個まで	4,000円
100個以上	5,000円

スタンプ交換の手続きは、天草市社会福祉協議会各支所で行います。申請は1月、「天草宝島商品券」の交付は3月になります。



地域介護力の育成・確保

熊本県指定「介護職員初任者研修」

受講生20名が
修了!

8月16日(木)、天草市民センターにおいて「介護職員初任者研修閉講式」を執り行いました。約2ヶ月間(130時間)におよぶ研修を終えた20名の受講生の皆さん、お疲れ様でした。

受講生同士は講義や実技を通し、絆が深まったようでした。

また、昨年度から創設された「天草市介護職員受講支援事業補助金制度」対象者の坂田毅さんは「非常にありがたい。早速申請をしたい。」と喜びを露わにされていました。

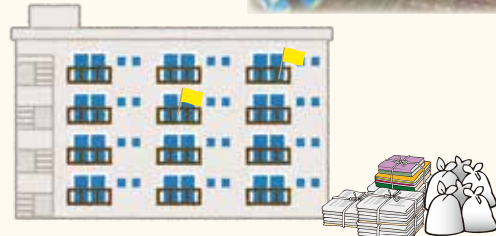
この研修で習得された知識・技術・受講生間のネットワーク等を職場や地域で活かされ、皆さんがご活躍されることを期待しています。



天草市社協では、福祉人材育成を目的に毎年1回本研修を実施しています。今後も天草地域の介護力向上のために、育成を行って参ります。

支え合いみ ~つけた

天草工業高等学校(江藤義英 校長)の寮生が、ごみの分別作業を行っています。この活動は平成20年から続いており、今年で11年目を迎えます。毎月2回資源ごみ回収日前日に、高校生が2班に分かれて30分ずつ亀場町上浜田のごみステーションで活動中です。



平成29年からは、隣接する浜田尻団地にエレベーターがないことから、ご自宅からごみステーションまでのごみの運搬支援として、お手伝いしてほしい方には、黄色い旗などの目印になるものを出していただき、そこに生徒が取りに行くといった活動も取り入れておられます。代々引き継がれているこの高校生による活動は、地域に根差した活動であり、ひいては地域への愛着や誇りへとつながることでしょう。高校生の活躍に若い力の可能性と、その大きさを感じます。

あまくさ成年後見センター

平成30年度 市民後見人養成講座 受講生募集!!

- 対象者**
- 天草市民であり、原則として、全カリキュラムを受講することが可能な方
 - 成年後見制度に関心があり、地域での福祉活動に意欲のある方
 - 民法第847条に定める、成年後見人等の欠格事由に該当しない方

会場 天草市民センター

受講料 無料

定員 20名程度

カリキュラム



開催日程	内容	講師職種	
11月13日④	13:45 ~ 15:15	障害者総合支援法、障害者虐待防止法、生活保護制度の概要	行政職員
	15:15 ~ 17:15	対人援助の基礎	社会福祉士
11月14日④	10:00 ~ 17:00	成年後見制度の基礎	社会福祉士
11月21日④	13:30 ~ 15:30	市民後見概論	司法書士
	15:30 ~ 17:30	天草市の現状・地域の課題、介護保険法、高齢者虐待防止法	行政職員
11月22日④	13:30 ~ 15:30	個人情報保護	弁護士

締め切り 11月6日④

申込方法 天草市社会福祉協議会に設置してある申込書に必要事項を記載の上、天草市社会福祉協議会本所及び各支所へ提出ください。詳細はお問い合わせください。

☎32-2552

将来の備えに、知って得する 成年後見制度について学びました

8月21日(火)、天草市民センター展示ホールにおいて、天草市権利擁護人材育成事業「平成30年度成年後見講演会」を開催しました。

講師に大分大学福祉健康科学部の衣笠一茂 学部長をお招きし、成年後見制度の理解を深めることを目的に、「高齢者や障がい者が安心して暮らすために」と題してご講演いただきました。衣笠先生には、成年後見制度ではどのような支援ができるのか、在宅介護支援センター時代の経験をもとに貴重なお話をいただき、成年後見制度について参加者は理解を深めることが出来ました。



▲大分大学福祉健康科学部 衣笠一茂 学部長

当日は台風接近による影響が心配されましたが、福祉施設関係者や民生委員さんをはじめ、金融機関、地域包括支援センター、行政の職員など約180名にご参加いただきました。ご参加いただきましたこと心より感謝申し上げます。

成年後見制度の利用促進について、今後も継続して普及啓発活動を行っていきたく思っております。ご相談がある方はお気軽にあまくさ成年後見センターまでご連絡ください。

広がる離職の防止対策

少子高齢化の社会背景の中、介護を担う人材の不足が問題になっていきます。

そこで、天草市社会福祉協議会では、介護職員の資質向上や、ストレス解消を図ること等で、離職防止を目指し、熊本県の介護職員定着支援事業を活用し、今年度、天草市福祉人材キャリアアップ研修会として講演会を実施しました。

職員同士の強い支え合い

10月12日(金) 天草市民センター大会議室において、天草市福祉人材キャリアアップ研修会の第一弾となる「地域共生社会づくりに向けて～専門職に求められるコミュニケーション・エンパワメントの技法～」の講演会を実施しました。

平日の昼間にも関わらず、福祉と介護の職員の方、約100名に参加いただきました。講演会では、これから求められる地域共生社会について、大分県内で実際に取り組まれた、地域アセスメントの方法等も交えながら話され、制度の理解が深まりました。

地域共生社会は、支える側、支えられる側に限らず、地域全体で、地域に住む誰もが役割を發揮できる地域を目指しています。これからは、様々な職種の方が、地域の一人として、あらゆる主体とつながることで、支援の幅が広がるだけでなく、一人で負担を抱えないことの重要性を再認識しました。天草地域の福祉・介護人材だけでなく、離職していかないよう職員同士の支え合いを広げていきましょう。



介護現場の ストレス解消法

第2弾は、10月30日(火) 天草市民センター大会議室において、「福祉・介護の現場におけるストレスマネジメントとは！～あなたに笑顔で向きあうために～」と題した講演会を実施しました。講演では、福祉や介護の現場で起こりうるストレスの要因から、ストレス対処法、怒りのセルフコントロールまで学ぶことが出来ました。



講師 鹿兒島大学大学院臨床心理学研究科教授 稲谷 ふみ枝氏

ストレス解消のヒント

- 一、自分でできる事
 - 一、周りの環境
 - 一、対人関係能力
- 受け止め方を変えてみる(楽観的・笑いに変える)
- 悩みを相談できる仲間をみつける
- どれだけ、多くの人と感情を分かち合えるか？

平成30年度 地域支え合い推進講演会

笑って元気

～笑顔でつながる、隣近所の支え合い～

いつまでも住み慣れた地域で生活を続けていくためには、地域にあるなじみの関係の中で、「お互いさま」の考え方による地域のつながりが大切になってきます。

その大切さについて、地域住民の皆様にも再認識していただく機会になるよう、4つの会場で講演会を開催します。

笑いのあふれる講演会に、

お隣近所お誘いあわせの上、
ぜひご参加ください♪

入場
無料

◆お問い合わせは下記の担当支所へ

牛深会場 11月28日(水) 14:00～16:00
会場：牛深老人福祉センター
定員：150名
牛深支所 ☎72-2904

本渡会場 11月28日(水) 18:30～20:00
会場：宮地岳地区コミュニティセンター
定員：130名
本渡支所 ☎24-0100

倉岳会場 11月29日(木) 10:00～12:00
会場：倉岳老人福祉センター
定員：120名
倉岳支所 ☎64-3895

有明会場 11月29日(木) 14:00～16:00
会場：有明老人福祉センター
定員：120名
有明支所 ☎53-0110



講師 矢野 大和氏
(おおいた観光特使)

〔プロフィール〕

昭和31年、大分県宇目町の鷹鳥屋神社の宮司の長男として生まれる。平成19年、佐伯市役所を退職。平成23年からおおいた観光特使に任命され、高校時代に始めた落語が高じ、話の中に笑いを入れる事から「講演」を「口演」としている。翌年には大分県南落語組合理事にも就任。毎年400回を超える口演をしている。



講師 柳亭 こみち氏
(一般社団法人落語協会 真打)

〔プロフィール〕

平成15年に早稲田大学を卒業し、社会人を経験後、柳亭燕路師匠に入門。平成18年11月 ニッ目昇進 平成25年8月 第1回浦和落語選手権にて優勝 平成29年9月 真打昇進

買い物・ゴミ出しなどの解決策 ほっと安心サポート事業

日常のちょっとした困りごとを地域の中で支える会員登録制の仕組みです。その縁結び役になるのが、地域通貨券です。お手伝いしてもらったお礼に、お願いした人からサポートした人に渡します。地域通貨券は、各地域の加盟店で1枚200円の金券として使えます。

例えばこんなお手伝いが出来ます

- 買い物代行・ゴミ出し・掃除
- 庭の手入れ・草むしり・話し相手
- その他日常生活での困りごと

ほっと安心サポート事業の仕組み



地域通貨券一覧

地域	単位	サポート券	問合せ先
本渡南	本渡南よか縁		本渡支所 24-0100
本渡北	本渡北よか縁		
本渡西	本渡西よか縁		
本渡東	本渡東よか縁		
旧牛深市	あかね		牛深支所 72-2904
有明町	おくと		有明支所 53-0110
御所浦町	てらの		御所浦支所 67-3782
倉岳町	えびす		倉岳支所 64-3895
栖本町	かっぱ		栖本支所 66-3367
新和町	ハマボウ		新和支所 46-3770
五和町	いるか		五和支所 32-1076
天草町	つばき		天草支所 42-0678
河浦町	さざんか		河浦支所 76-1401

1回のサポートの目安

20分→200円券1枚

※利用限度基準は、1回の支援で原則1時間までとします。
※地域通貨券には、使用期限があります。

ほっと会員

困りごとのある高齢者等
新規会員登録料
1,000円

サポート会員

協力できる人
登録料無料

会員募集中

運営協力会員

縁の下の力持ち
資金面での協力
年会費
1,000円以上

加盟店

地域通貨券が
使えるお店
ステッカー or
のぼり旗掲示店

天草市の全地域で
活動が始まりました。



福祉サービスが生活をつなぐ

新規事業

高齢者、身体障がい者等が
地域で、安心して生活を送るため

平成30年10月1日開始

『金銭管理サポート事業』をご利用ください

金銭管理サポート事業とは？

高齢者、身体障害者（金融機関へ移動することが困難な方）及び金銭管理等に不自由を感じておられる方が、自分の地域で安心して暮らせるよう、天草市社会福祉協議会が契約に基づいて預貯金の払い出しや書類等を保管する、独自事業のことです。

援助内容

金銭管理サポート

- 生活に必要な預貯金の払い出しや預け入れのお手伝いをします。
- 福祉サービスの利用料、医療費等の支払いのお手伝いをします。



書類等の預かりサービス

通帳やハンコ、証書等を安全に保管します。



天草市社会福祉協議会が、責任をもって支援します

サービスを利用したい方と天草市社会福祉協議会で契約を結び、安心して生活が送れるよう支援計画を作成します。

相談から、サービスの提供に至るまで「担当職員」や「生活支援員」が、責任をもって高齢者や障がい者の方々を援助します。

利用料

金銭管理サポート

1回の支援 / 900円

書類等の預かりサービス

1月 / 300円

じぶんの町を良くするために…

「赤い羽根共同募金運動」にご協力おねがいします



天草市共同募金委員会目標額
20,485,000円

平成30年10月1日から全国一斉に展開されている赤い羽根共同募金運動は、今年で72年目を迎えています。地域の皆様方をはじめ、各種関係団体の温かいご協力により寄せられた募金は、熊本県共同募金会で取りまとめ、平成31年度に県内の社会福祉団体・施設やボランティア団体に配分されるとともに、**天草市社会福祉協議会へも地域配分金として約70%が還元**され、地域福祉事業・ボランティア事業の充実のために活用されます。



歳末ふれあいのつどい2018 12月9日(日)に開催します



本年度も12月9日(日) 天草市民センターホールにて演芸会「歳末ふれあいのつどい2018」を開催します。天草市の各種団体、関係機関等に多数ご出演いただき、おもいやり・たすけあいの精神の啓発普及を図ることを目的としています。たくさんのご来場をお待ちしています。詳しいお問い合わせは、天草市社会福祉協議会本渡支所まで。

※下記写真は、昨年度の様子です。



【お問合せ先】 天草市社会福祉協議会 本渡支所 TEL:24-0100 / FAX:22-4985

♥お住まいの地域の問合せ先♥

本渡支所 ☎24-0100	牛深支所 ☎72-2904	有明支所 ☎53-0110	御所浦支所 ☎67-3782
倉岳支所 ☎64-3895	栖本支所 ☎66-3367	新和支所 ☎46-3770	
五和支所 ☎32-1076	天草支所 ☎42-0678	河浦支所 ☎76-1401	

〈編集・発行〉社会福祉法人

天草市社会福祉協議会

〒863-2201 天草市五和町御領2943番地 TEL(0969)32-2552 FAX(0969)32-2551
E-mail: amakusa-cosw@amasha.jp URL: http://amakusa-shakyo.jp

